

## 製造業・非製造業とも収益状況は大幅に悪化

6月の情報連絡員報告によると、製造業、非製造業とも、対前年同月比で大幅に悪化している。

販売価格のDI値のみが対前年比で上昇しているものの、それ以外の項目のほとんどが悪化している。特に収益状況は製造業、非製造業とも40ポイント近く悪化しており、非常に厳しい状況がうかがえる。

【製造業64人、非製造業86人、計150人の集計】

### 各項目のDIの動き（前年同月比）

	全 体	製造業	非製造業
売上高	⊖	⊖	⊖
在庫数量	⊖	⊖	⊕
販売価格	⊖	⊕	⊕
取引条件	⊖	⊖	⊖
収益状況	⊖	⊖	⊖
資金繰り	⊖	⊖	⊖
設備操業度	⊖	⊖	—
雇用人員	⊖	⊖	⊖
業界の景況	⊖	⊖	⊖

😊 …増加、上昇、好転

😐 …不変

⊖ …減少、低下、悪化

## ✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
鉄鋼・金属	鍍金加工業	現在の原材料価格の高騰は、小零細の下請業者には対応が困難。材料価格の安定施策を要望したい。7月からは電気・ガス料金の値下げも予定され、自助努力も限界である。
	建築金物製造業	消費マインドを明るい方向に引っ張ってもらうことを願うのみである。
小 売 業	青果物小売業	日本の食を守っていくためには若い世代をいかに農業に目を向けさせるのかが重要である。そのためには農家の収入の安定が必要であり、そのための行政の施策対応を望む。
	豆腐小売業	原料大豆の先行供給に不安あり。安定供給の努力を要望する。
	二輪小売業	先日、そば屋の前の置かれている出前用の50CCバイクが駐車監視員に駐車違反の摘発を受けていた。自転車に囲まれる中でバイクのみが摘発される姿は異様であった。昨年度の原付バイクを含んだ二輪車の取り締まり件数は全国で52万件に上っているがそのうち9割が東京、大阪、千葉、埼玉、神奈川に集中している。東京に至っては約130万台の二輪保有台数に対して摘発は25万件と実に、5台に1台が摘発を受けている計算である。また、2005年度の摘発件数に比べると5倍に達している。二輪車は四輪車に比べ道路占有率がはるかに低いにもかかわらず四輪同様に摘発されている。これではバイクを配送に利用する多くの商売が成り立つことができない。行政はこの現状を見殺しにしないでいただきたい。
商店街	赤坂	融資が円滑に行われる仕組みを作ってほしい。
建設業	管工事業	公共工事標準請負契約約款に基づく単品スライド条項の速やかな適用を。

平成20年  
6月

# 業 界 の 声

製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食 料 品	麺類製造業	米粉を利用すべきとの声もあるが普及は難しい。今回の麦粉価格値上げ分の価格転嫁は、了解が取れず苦しい経営となっている
	中華麺製造業	組合の脱退者が数社出る模様。
繊維・同製品	洋服製造業	デパートを中心に売れ行き不振。シーズンの切替期だが次の企画ものが中々入らない。
	帽子製造業	ユーザーの買い控えが始まっている。売れ筋動向は機能付き（タレ付帽子、ハットピン付帽子）など実用的な帽子が好調。
	帆布製品製造業	主力商品（テント生地）を含め多くの商品の大幅値上げが7・8月に実施される。業界の景況が低迷する中で、値上げによってさらに景況が悪化することが懸念される。
	ニット製品製造業	原材料・燃料価格の高騰に伴い、メーカーは利益の無い生産活動を余儀なくされている。
木材・木製品	ネクタイ製造業	売上は対前年比90%と大幅ダウン。外部要因として衣料品の買い控えとクールビズの影響が考えられる。
	建具製造業	売上低下が著しい。組合員2社の倒産が発生した。住宅産業を取り巻く環境は日増しに悪化している。
印 刷	印刷業	4～6月期の売上動向は対前年比97.2%と厳しい見通しとなっている。特に3人以下の事務用印刷は10%以上の落ち込みを予測しており、中小零細企業の経営環境は原材料価格の上昇の影響もあり非常に厳しい状況にある。
化学ゴム	塗料製造業	改正建築基準法施行に伴う需要減で建築、建材、機械、金属等の分野は相変わらず動きが悪い。
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	建設需要は回復せず、対前年比で10%以上出荷が減少している。
	コンクリート製品製造業	協同組合の共同購買事業6月実績は前年同月比75%。共同購買取扱品目中、取引量の多い「レミファルト(常温合材)」「加熱合材」「乳剤」等について値上げを決定した。
鉄鋼・金属	電線製造業	6月は電気機械用・建設用の需要が減少したものの、通信用・電力用・自動車用電線の需要が伸びたため全体で需要は増加した。
	鋳物製造業	銑鉄、フェロシリコン等、原材料・副資材が7月より大幅に値上げされる。今後益々、経営が圧迫され、企業の存続に影響を与えるものと思われる。
	鍍金加工業	受注量の減少、材料・燃料価格の高騰や価格交渉の難航等悪化要因が多く廃業を考える組合員が増えている。
	金属熱処理業	米国向けトラック、建材関係等の熱処理業務が大きく落ち込んでいる。又、国内の需要減を見越し局部的に値下げ合戦が始まっている。
	建築金物製造業	原材料価格値上がり分の価格転嫁は困難。「官製不況」との声も多い。
電気機器	配電盤製造業	売上、操業度低下。大型案件が減少し受注見通しに陰りが出ている。資金繰りに著しい変化は見られないが、原材料価格の高騰に加え部品価格も上昇の気配がある。採算面に懸念があり、ばらつきがあるものの、総じて業界の景況は悪化の兆しがある。
その他の製造業	スポーツ用品製造業	健康志向からスポーツを始める人は増加傾向にあるが、消費はサプリメントや健康サポートサービスに流れており、スポーツ用品の販売に結びつける必要がある。
	鉛筆製造業	前月・前々月の落ち込みに対し、生産は少し好転した。しかしながら原材料コストの上昇分を価格転嫁できないため収益は悪化している。
	ガス圧接業	建築確認が徐々にしか下りず、工事量が増えない。原材料・アセチレンガスの値上げ分が受注単価にスライドせず、企業収益は逼迫している。
	紙製品製造業	原材料・副資材の波動的な値上げを受け、製造コストは増大の一途をたどっている。

平成20年  
6月

# 業 界 の 声

非 製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売 業	玩具卸売業	厳しい状況にあるが、東京ビッグサイトで開催された東京おもちゃショーには16万人を超える来場があり、多くのマスコミが大々的に報道したことは一筋の光明である。
	理容用品卸売業	若手組合員が活路開拓委員会を組織化し業界の活性化を図っているほか、50歳以上の経営者を対象に経営セミナーを開くなど、高齢化対策も併せて実施している。
	美容用品卸売業	地方の大手ディーラー(美容用品卸売業)の東京進出に伴い、事業譲渡する組合員企業が現れている
	電線卸売業	3月頃から電線の出荷が低下し始め3ヶ月経過した6月も悪化の一途をたどっている。工事件数が減少したこと、銅価や副資材の高騰が市況の低下を招いている。
	給食材料卸売業	事前に発注価格が決まっている学校給食では材料価格の価格高騰は大問題。また、品薄(バター、食用油)によっても物資の調達に苦戦している。
	紙製品卸売業	メーカー値上げにより卸商は在庫積み増し。需給バランスが崩れており8、9月の動向注視。
	家具卸売業	納品時の駐車違反取り締まりやガソリン価格の高騰の影響は大きい
	鶏卵卸売業	販売価格はやむを得ず値上げしたが、売上は伸びず収益は悪化している。
小 売 業	中古自動車小売業	販売台数が落ち込んでいる。燃費の悪い大型車が不振を極める一方、コンパクトカー・軽自動車に売れ筋が移っている。オートオークションにおいては出品台数は前年数字を維持しているものの成約率が大幅に低下している。
	古書籍小売業	古書籍の売上単価の下落が続き、それが仕入れ価格の低下にもつながるため市場に商品が出てこない状況が続いており、業界が収縮してきていることが心配される。
	電器製品小売業	オリンピック開催が迫り、AV機器の動きが好調。各社新製品を投入するもマイナーチェンジの比率が高く、販売価格はそれほど高くない。エアコンは天候の影響で動きがないが、その他は堅調。
	豆腐小売業	原材料価格高騰分の転嫁ができない。廃業が8件あり。
	文具小売業	消費者は買い控えからか単価の低い商品しか購入しない。今月をもって組合員一社が廃業。事業を継続する代わりに、店舗を賃貸する方が良いとの声が聞かれる。
	鮮魚小売業	副資材のほとんど(トレー、わさび等)が値上がりしたため経費が増加した。
	ペット小売業	不調は続いているが鳥インフルエンザ問題は若干沈静化したと思われる。
	電器製品小売業	秋葉原の通り魔事件の影響並びに、土日の天候が悪く来訪者の減少傾向が続いている。
	衣料品小売業	衣料品全般の売上は前年同月と比べ大きく落ち込んだ。
	木材小売業	前月より若干持ち直した感があるが厳しい状況に変わらない。原材料・原油高が相場動向にも少なからず影響を及ぼすはずで注視している。
化粧品小売業	後継者難で3社が組合を退会。全体的に客数は減少。	
商 店 街	銀座	徐々に仕入れ価格が上がっている。
	赤坂	TBSサカスへの来訪者数は未だ衰えない。売上増が目に見えてきた。特に飲食店での昼食の売上が増加している。
サービスマ	廃棄物処理業	一般廃棄物の収集運搬業手数料の値上げに取り組んでいるが、徐々に浸透している。燃料の高騰から採算は厳しい。一般廃棄物の排出量は横這い又は若干減少。東京都の道路通行規則の変更により収集運搬車両の駐車が申請により許可されることになった。
	自転車整備業	行政の締め付けと人件費負担の困難さから指定工場の返納が増えつつある。
	公衆浴場業	6月に料金が値上げされたが、利用回数が減少したため売上に反映されなかった。
	複写業	営業経費が高騰し、収益に影響を与えている中で、売上自体も本年度、前年を上回った月が一度もない。一段の合理化による原価コストの引き下げを要する。
	クリーニング業	梅雨の時期はクリーニング需要が低迷する。
運 送 業	貨物自動車運送業	荷動きは減少傾向。売上は激減。燃料の高騰により収益は大幅に悪化。秋口に倒産件数が増加するとの予想あり。
	港湾運送業	コンテナの取扱量が2万TEU減少したが、売上高は増加した。しかしながら収益状況は好転せず。燃料高の影響が見えて来ている。業界は経費の削減が求められる。